

平成29年度 高浜市公共施設総合管理計画の見直しについて

1. 高浜市公共施設総合管理計画の策定までの経緯

本市ではこれまで、平成23年度に公共施設の現状と課題を把握するため、「公共施設マネジメント白書」を策定し、平成24年度に学識経験者や市民で構成する「公共施設あり方検討委員会」を設置し、「公共施設マネジメント基本方針」及び「公共施設改善計画(案)」の報告書が提出された。

平成26年度では公共施設マネジメントの市の方針を「公共施設あり方計画(案)」としてとりまとめ、平成27年度では、長期財政計画と連動やインフラ施設の長寿命化も視野に入れた「高浜市公共施設総合管理計画」を策定した。

本計画は、総合計画(基本計画)の策定期間に合わせて4年ごとに見直しをすることとしていることから、平成30年度の新たな総合管理計画の運用に向け、来年度、計画の見直しを実施する。

2. 高浜市公共施設総合管理計画の概要

【高浜市がめざす公共施設の姿(施設改善方針)】

「新たなハコモノ施設はつくらない」ことを前提に、「学校」を地域コミュニティの拠点として位置づけ、他の施設との複合化を視野に入れた、施設の改修・建替えを行う。

改善項目① 施設の総量の圧縮

公共施設のあり方や必要性を、市民ニーズ、費用対効果などの視点から見つめ直し、適正な施設保有量を実現します。

【目標値】延床面積 23.7%総量圧縮

改善項目② 施設の長寿命化

今後も維持していく施設に対しては、定期的な点検・診断結果に基づく計画的な維持修繕を徹底し、施設を長持ちさせることにより、長期にわたり安心安全に利用いただける施設を提供するとともに、財政的な負担の軽減と平準化を図ります。

【目標値】大規模改修 35年、建替え 70年

【モデル事業1】高浜小学校等整備事業(H29-H32)

○高浜小学校の施設更新に併せ、児童センターや集会機能、スポーツ施設等との複合化を図る。

【モデル事業2】勤労青少年ホーム跡地活用事業(H29-30)

○勤労青少年ホーム跡地を、民間事業者により、スポーツ拠点としてプールやテニスコートなどの整備を行う。

【インフラ長寿命化方針】(対象施設:道路、橋りょう、河川、公園、上・下水道)

○インフラ機能の確実な維持管理による安心・安全の確保

○中長期的な視点に立ったコスト管理

3. 高浜市公共施設総合管理計画の見直しに向けての課題

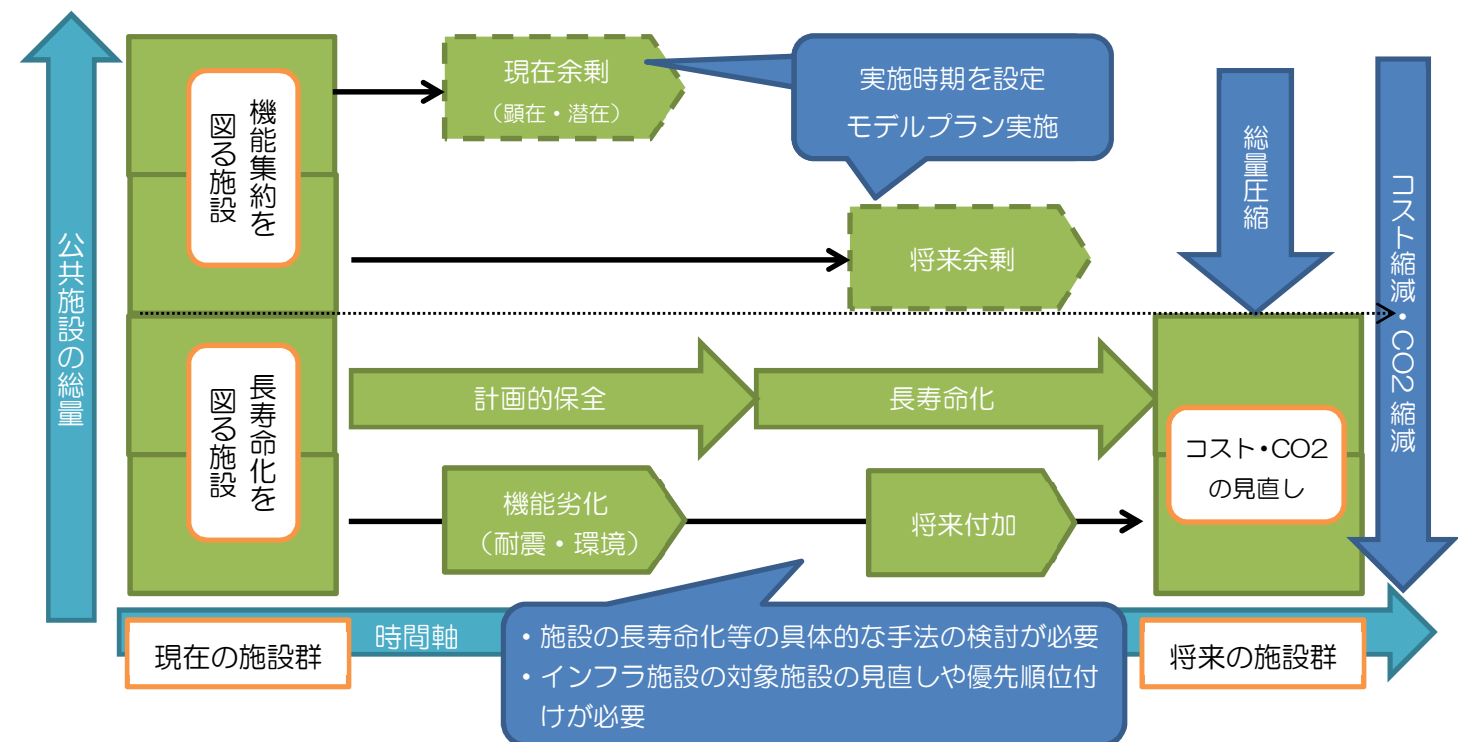
【H28.2.12 推進委員会 公共施設総合管理計画(案)に対する委員意見】

- ・財政計画に裏付けされている、総合管理計画の事例は少ない。
- ・圧縮率を出しても先送りしたら意味がない。実施することで効果が出てくる。
- ・ハコモノからの脱却。ソフト計画をどうするか改革が必要。
- ・水門等の防災に係る施設も対象にした方が良い。 ・インフラの整備も優先順位付けをするべき。

【高浜市公共施設総合管理計画見直しに向けての課題】

- 施設の長寿命化(大規模改修35年、建替え70年)を行うための具体的な手法の検討
- インフラ施設の対象施設の見直しや整備の優先順位付けの検討

4. 高浜市公共施設総合管理計画の見直しに向けた課題のイメージ



5. 高浜市公共施設総合管理計画の見直しのポイント

1. 公共施設の「質」の見直しに向けた、長寿命化等の具体的な手法の検討

- ・施設台帳(カルテ)が整備されていない。⇒統一した施設台帳の整備
- ・各施設の過去の修繕・改修情報を蓄積できていない。⇒修繕・改修情報を記載する様式の整備
- ・施設を長寿命化するための具体的な手法を示していない。⇒長期修繕計画の検討・整備
⇒点検表や保全マニュアルの整備

2. インフラ施設の対象施設の見直しや優先順位付けの検討

- ・インフラ施設の現状把握、対象施設の見直しによる将来コストの試算
- ・施設整備における優先順位指標の検討

3. その他

- ・公共施設マネジメントの市民理解、合意形成等の手法検討
- ・施設跡地の活用方法の検討

【メモ欄】